

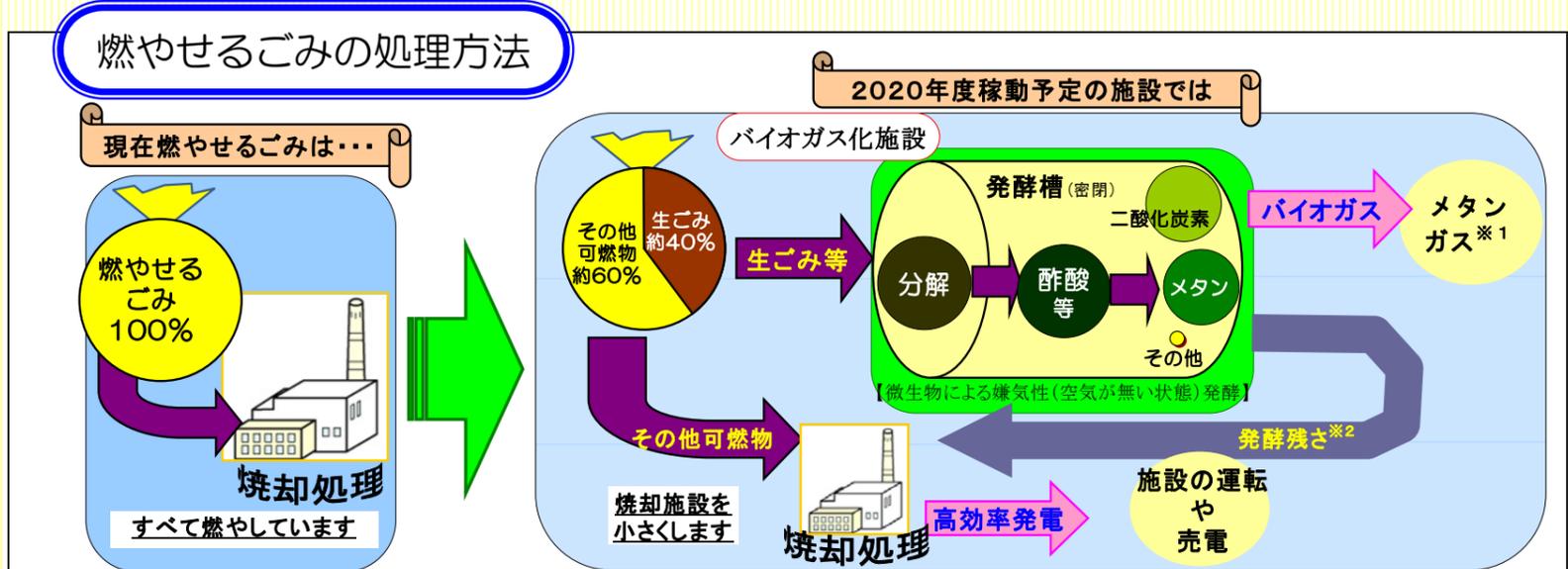
ごみ資源化施設建設 NEWS

発行日：2013年5月31日
発行：町田市環境資源部
問合せ：循環型施設整備課
住所：町田市森野2-2-22
電話：042-724-4384

広報紙「ごみ資源化施設建設 NEWS」では、2020年度からの稼働を予定している新たな「ごみの資源化施設」に関する情報をみなさまにお届けします。

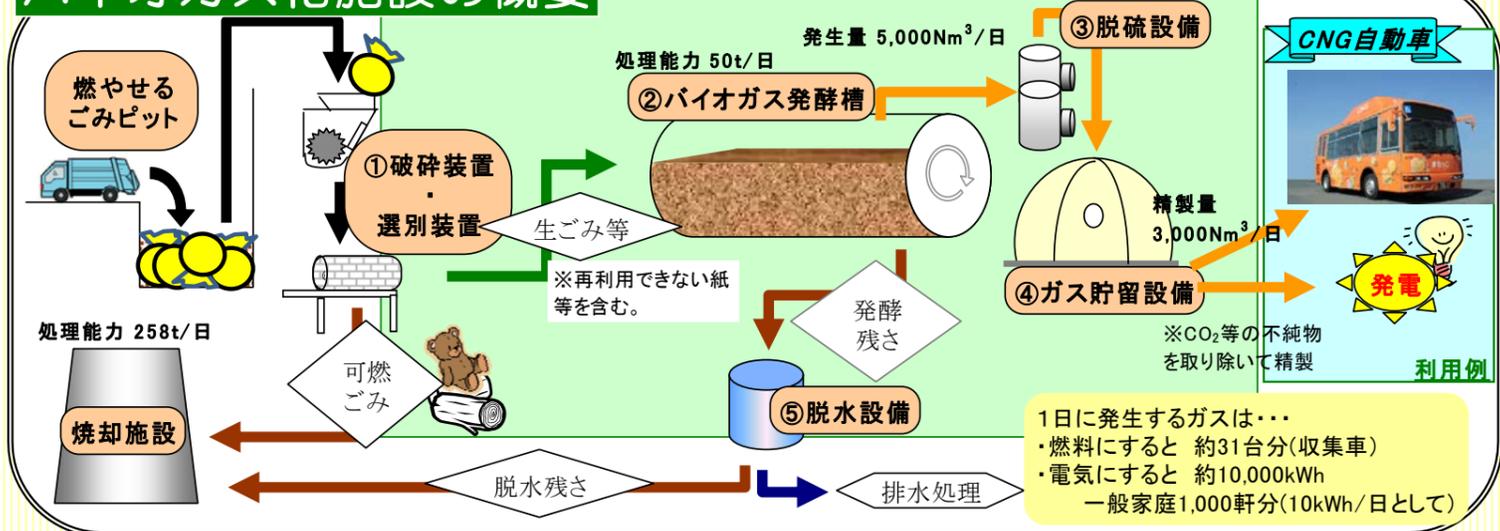
バイオガス化施設をご紹介します

2011年4月に策定した「町田市一般廃棄物資源化基本計画」では、2020年度までにごみとして処理する量を40%削減することを全体目標としています。このため、新たな焼却施設の規模は、現施設の約6割（258ト/日）に縮小するとともに、バイオガス化施設（50ト/日）を設け、ごみの減量と資源化率の向上、二酸化炭素の削減を目指しています。今回は、バイオガス化施設をご紹介します。

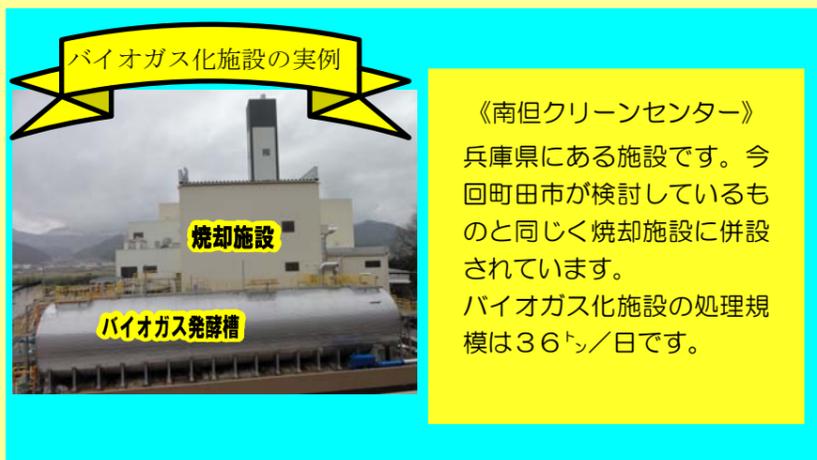


※1メタンガス：皆様が普段お使いの都市ガスの主成分である可燃性ガスです。バイオガスにはメタンガスが約60%含まれています。
※2発酵残さ：生ごみからメタンガスを取り出した残りかすで、焼却施設の補助燃料として活用する予定ですが、引き続き堆肥化の研究も続けます。

バイオガス化施設の概要



- ①破砕装置・選別装置 搬入されたごみを細かくして、そこから生ごみ等を取り出します。生ごみの選別効率は90%以上です。
- ②バイオガス発酵槽 空気を必要としない微生物の力を使い生ごみ等からバイオガスを発生させます。
- ③脱硫設備 発生させたバイオガスから硫化水素などを取り除きます。
- ④ガス貯留設備 バイオガスを安定・継続的に使用するために低圧状態で一時保管します。
- ⑤脱水設備 発酵残さから水分を取り除きます。



《南但クリーンセンター》
兵庫県にある施設です。今回町田市が検討しているものと同じく焼却施設に併設されています。
バイオガス化施設の処理規模は36ト/日です。

おしえて！バイオガス化施設 Q & A

Q バイオガス化施設って、全国にどれくらいあるの？

A 生ごみやし尿・浄化槽汚泥などの処理を目的としたバイオガス化施設は全国49箇所です（下記の「全国のバイオガス化施設所在地」をご覧ください）。なお、家畜ふん尿の処理や、消化槽を持つ下水処理場などを含めてバイオガス化する施設は500箇所以上あります。ちなみに、1950年代後半から国内では広く普及しており、安全性も確立しています。

Q バイオガスって危なくないの？

A バイオガスに含まれるメタンガスは自然界にも存在しており、取り扱いをしっかりとすればまったく危険はありません。ガス貯留設備も低圧のため、家庭用の都市ガスやプロパンガスほど火力はなく、先の東日本大地震の時を含めて過去に国内で爆発や火災の事例はありません。

Q 生ごみを発酵させるって、なんか臭そう・・・

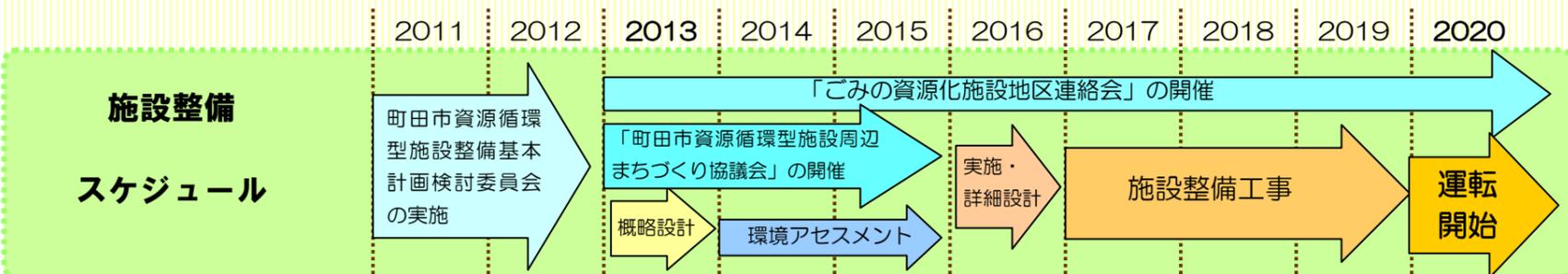
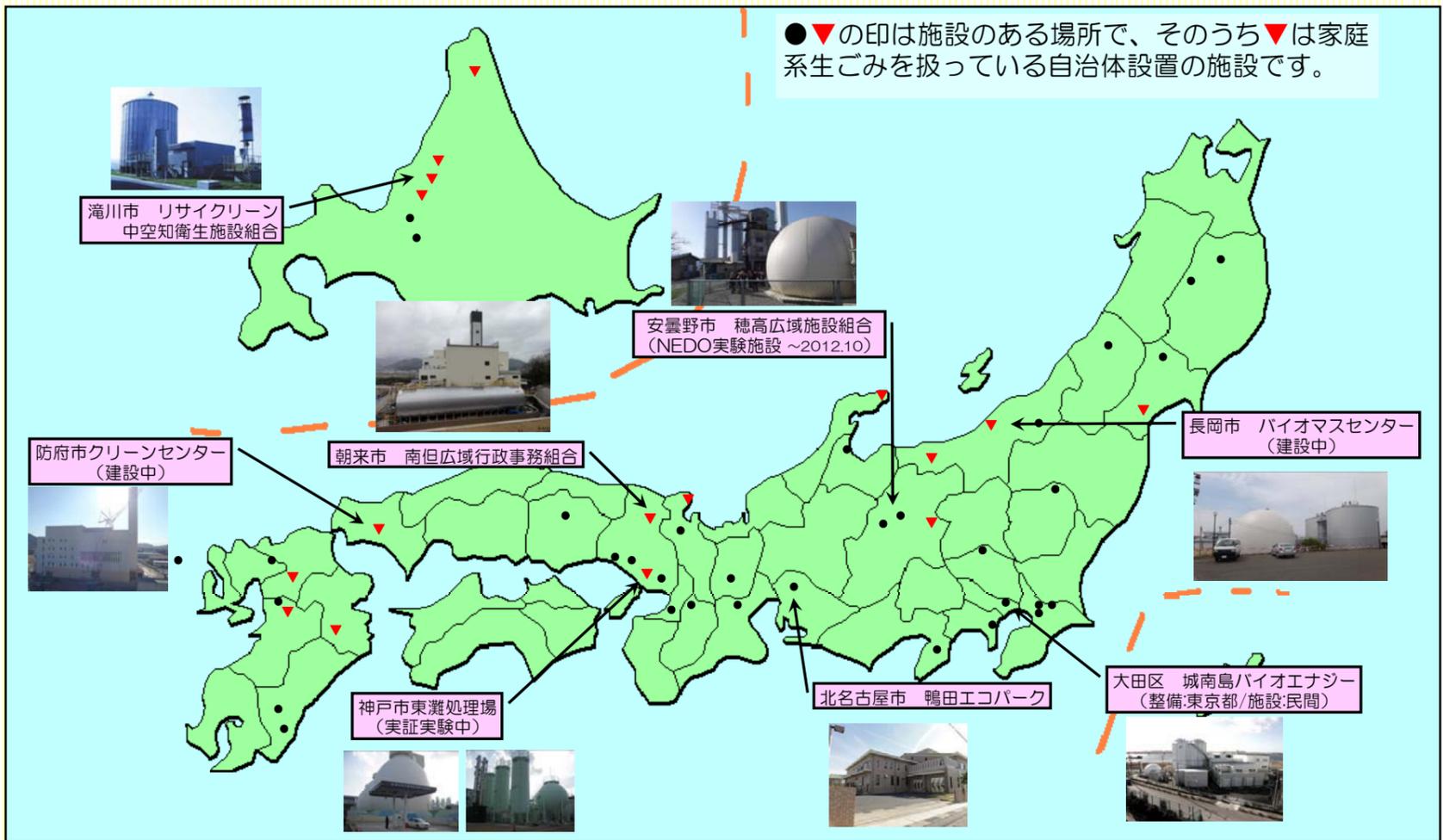
A バイオガス中のメタンガスや二酸化炭素は無臭です。臭いの主な発生源は、受入設備と発酵残さの処理設備です。臭いが発生する場所は、密閉構造にして局所排気装置を用い活性炭などで脱臭処理をおこない、臭いが漏れないようにします。

Q 生ごみの分別って大変そうだけど？

A 燃やせるごみとして集めたごみの中から、機械によって生ごみを選別します。しかし、容器包装プラスチックの分別や資源化の徹底などでより一層のごみ減量にご協力いただけますよう、これからもお願いします。

全国のバイオガス化施設所在地

生ごみを受け入れているバイオガス化施設（民間含む）



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

みんなで実現！ごみマイナス40% -40%